

機械科 高校生ものづくりコンテスト（旋盤作業部門）中国地区大会の結果

8月29日、30日、山口県周南市の山口県立東部高等産業技術学校において標題の大会が開催され、島根県代表として本校の機械科2年生、門脇さんと石倉さんが出場しました。制限時間2時間、延長は30分まで



で2分ごとに1点が減点され、2時間30分を超えると失格となります。審査は、寸法精度、安全作業、表面性状等を評価されます。また、生徒自らが持つ考える力を試すため、競技開始30分前に各部の寸法が発表され、生徒だけの力によって工具や測定器具等の準備と調整を行います。



寸法は1/100ミリ単位の精度を、そして外観は鏡のような表面性状を目指します。猛暑の中、立ち続けて約2時間の加工を行うためには、集中力と体力が必要になります。



結果、自己ベストの1時間59分15秒で完成し、総合成績は第7位となりました。3年生に混ざり、たった9か月間の練習で、この二人の2年生はよく頑張ったと思います。

ちなみに、1週間前にも同じ場所で同大会の溶接作業部門に3年生の神内さんが出場し、4位に入賞しています。



最後になりましたが、猛暑の中で役員を務めてくださった山口県の先生方、島根県内の協力してくださった多くの企業の皆様、技能マイスターの狩野先生、大國先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。

